

# 農業農村整備事業等事後評価地区別結果書

|     |       |
|-----|-------|
| 局 名 | 九州農政局 |
|-----|-------|

|       |             |        |                            |
|-------|-------------|--------|----------------------------|
| 都道府県名 | 大分県         | 関係市町村名 | うすきし (旧うすきし)<br>臼杵市 (旧臼杵市) |
| 事業名   | 中山間地域総合整備事業 | 地区名    | うすき<br>臼杵                  |
| 事業主体名 | 大分県         | 事業完了年度 | 平成21年度                     |

## 〔事業内容〕

事業目的：本地区は、大分県東南部の中山間地域に位置しており、水稻を中心に野菜の複合経営が展開されている。

しかしながら、農業生産基盤整備の遅れから安定した農業経営に支障が生じるとともに、集落内の道路は狭く、日常生活の利便性や安全性が阻害されていた。

このため、本事業により農業生産基盤の整備を行い、農業生産性の向上と農作業の省力化を図るとともに、併せて農村生活環境整備等による集落環境の向上と地域の活性化に資する。

受益面積：62ha

受益者数：133人

主要工事：用排水路0.6km、農道1.8km、区画整理9ha、  
農業集落道1.8km、集落防災安全施設（防火水槽）6基、用地整備1箇所、  
農村公園1箇所

総事業費：1,710百万円

工期：平成11年度～平成21年度（計画変更：平成16年度）

関連事業：なし

## 〔項 目〕

### 1 社会経済情勢の変化

#### （1）社会情勢の変化

旧臼杵市の総人口について、平成7年と平成22年を比較すると10%減少し、大分県全体の減少率3%を上回っている。

#### 【人口、世帯数】

| 区分   | 平成7年    | 平成22年   | 増減率  |
|------|---------|---------|------|
| 総人口  | 36,614人 | 33,118人 | △10% |
| 総世帯数 | 12,141戸 | 12,605戸 | 4%   |

（出典：国勢調査）

産業別就業人口については、第1次産業の割合が平成7年の10%から平成22年の6%に減少しており、平成22年の大分県全体の割合7%に比べて低い状況となっている。

#### 【産業別就業人口】

| 区分    | 平成7年   |     | 平成22年  |     |
|-------|--------|-----|--------|-----|
|       | 人数     | 割合  | 人数     | 割合  |
| 第1次産業 | 1,752人 | 10% | 912人   | 6%  |
| 第2次産業 | 5,993人 | 35% | 4,561人 | 31% |
| 第3次産業 | 9,632人 | 55% | 9,099人 | 63% |

（出典：国勢調査）

#### （2）地域農業の動向

平成7年と平成22年を比較すると、耕地面積については18%、農家戸数は38%、農業就業

人口は42%減少しており、65歳以上の農業就業人口も18%減少している。  
一方、農家1戸当たりの経営面積は6%、認定農業者数は約2倍に増加している。

| 区分      | 平成7年     | 平成22年    | 増減率  |
|---------|----------|----------|------|
| 耕地面積    | 2,894ha  | 2,380ha  | △18% |
| 農家戸数    | 1,586戸   | 990戸     | △38% |
| 農業就業人口  | 1,296人   | 750人     | △42% |
| うち65歳以上 | 667人     | 549人     | △18% |
| 経営面積    | 0.47ha/戸 | 0.50ha/戸 | 6%   |
| 認定農業者数  | 24人      | 50人      | 108% |

注) 耕地面積は臼杵市の数値、その他は旧臼杵市の数値  
(出典：耕地面積は耕地面積統計、認定農業者数は大分県調べ、その他は農林業センサス)

## 2 事業により整備された施設の管理状況

事業により整備された農業用用水路については、地区内の受益者により、その他の施設は臼杵市によって適切に維持管理されている。

## 3 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化

### (1) 農作物の生産量の変化

いちご、だいこん等の主要作物については、概ね計画どおりの作付けが行われているとともに、栽培技術の高度化などにより生産量は計画を上回っている。

#### 【作付面積】 (単位：ha)

| 区分   | 事業計画（平成16年）   |    | 評価時点<br>(平成26年) |
|------|---------------|----|-----------------|
|      | 現況<br>(平成16年) | 計画 |                 |
| 水稻   | 20            | 18 | 18              |
| トマト  | 8             | 8  | 8               |
| いちご  | 2             | 3  | 3               |
| キャベツ | 10            | 11 | 10              |
| だいこん | 15            | 15 | 15              |

(出典：事業計画書（最終計画）、臼杵市調べ)

#### 【生産量】 (単位：t)

| 区分   | 事業計画（平成16年）   |     | 評価時点<br>(平成26年) |
|------|---------------|-----|-----------------|
|      | 現況<br>(平成16年) | 計画  |                 |
| 水稻   | 97            | 92  | 89              |
| トマト  | 661           | 687 | 643             |
| いちご  | 97            | 105 | 150             |
| キャベツ | 307           | 320 | 332             |
| だいこん | 769           | 774 | 1,056           |

(出典：事業計画書（最終計画）、臼杵市、JA臼杵調べ)

#### 【生産額】 (単位：百万円)

| 区分   | 事業計画（平成16年）   |     | 評価時点<br>(平成26年) |
|------|---------------|-----|-----------------|
|      | 現況<br>(平成16年) | 計画  |                 |
| 水稻   | 22            | 21  | 22              |
| トマト  | 146           | 152 | 217             |
| いちご  | 96            | 104 | 140             |
| キャベツ | 21            | 22  | 20              |
| だいこん | 54            | 54  | 81              |

(出典：事業計画書（最終計画）、臼杵市、JA臼杵調べ)

(2) 営農経費の節減

区画整理等の実施に伴い農作業の効率化が図られたことから、事業実施前と比べ労働時間等の節減が図られている。

一方、機械経費は物価上昇に伴い計画を上回っている。

【労働時間】

(単位：hr/ha)

| 区分   | 事業計画（平成16年）   |     | 評価時点<br>(平成26年) |
|------|---------------|-----|-----------------|
|      | 現況<br>(平成16年) | 計画  |                 |
| 水稻   | 657           | 342 | 342             |
| キャベツ | 1,766         | 876 | 876             |
| だいこん | 1,575         | 818 | 818             |

(出典：事業計画書（最終計画）、農家聞き取り)

【機械経費】

(単位：千円/ha)

| 区分   | 事業計画（平成16年）   |     | 評価時点<br>(平成26年) |
|------|---------------|-----|-----------------|
|      | 現況<br>(平成16年) | 計画  |                 |
| 水稻   | 326           | 181 | 211             |
| キャベツ | 226           | 175 | 204             |
| だいこん | 158           | 199 | 232             |

(出典：事業計画書（最終計画）、農家聞き取り)

4 事業効果の発現状況

(1) 事業の目的に関する事項

① 農業生産性の向上

本事業の実施により、安定した農業用水が確保されたため、いちご、だいこんの単収が計画を上回るとともに、その他の作物の単収も概ね計画どおりとなっており、農業生産性の維持向上が図られている。

【単収】

(単位：kg/10a)

| 区分   | 事業計画（平成16年）   |       | 評価時点<br>(平成26年) |
|------|---------------|-------|-----------------|
|      | 現況<br>(平成16年) | 計画    |                 |
| 水稻   | 496           | 506   | 482             |
| トマト  | 8,584         | 8,584 | 8,459           |
| いちご  | 4,029         | 4,029 | 5,550           |
| キャベツ | 3,043         | 3,043 | 3,221           |
| だいこん | 5,304         | 5,304 | 7,233           |

(出典：事業計画書（最終計画）、JA臼杵調べ)

② 維持管理費の節減

用水路の改修により農業用水の安定供給が図られるとともに、老朽化による漏水や用水不足時の見回り等が軽減され、維持管理費の節減が図られている。

③ 農村地域の活性化

本事業により整備された農村公園及び用地整備にあわせ臼杵市により造成された多目的グラウンドは、収穫祭等のイベントの開催のほか、地域住民の健康増進やスポーツ交流の場としても活用され、地域の活性化に寄与している。

(2) 土地改良長期計画における施策と目指す成果の確認

① 農地の汎用化等による農業の体質強化

ほ場整備の実施によって、区画の整形や用排水路分離による水管理の改良により作物生産の安定化が図られ、作業受託者の確保が可能となり耕作放棄地の発生が抑制されている。

② 農地・水等の生産資源の有効利用による食料供給力の確保

農業者の高齢化等に伴い臼杵市内における耕作放棄地面積は増加傾向にあるが、受益地では農業生産基盤の整備によって営農労力が軽減されたことによる営農活動の継続及びほ場整備の換地委員会や農道整備の地元推進委員会が母体となり、中山間地域直接支払交付金や多面的機能支払交付金を活用して取組んでいる農地保全活動や農業委員会による農地パトロールとの連携により、耕作放棄地の防止に努めている。

| 交付金名        | 組織名         | 構成人員<br>(人) |
|-------------|-------------|-------------|
| 中山間地域直接支払制度 | 臼杵広原集落      | 26          |
| 多面的機能支払交付金  | 通地区水田環境保全組合 | 30          |

(3) 事業による波及的效果等

農道整備により、直販所に至るまでの経路が整備されたため、地域外からの訪問者も増加し、直販所の活性化が図られている。

また、用地整備とあわせ臼杵市により造成された多目的グラウンドでは、地域内外を対象とした少年野球の大会が定期的開催されており、地域の活性化に寄与している。

(4) 事後評価時点における費用対効果分析の結果

妥当投資額 898百万円

総事業費 774百万円

投資効率 1.16

(注) 投資効率方式により算定。

5 事業実施による環境の変化

(1) 生活環境

農道及び農業集落道の整備により、農業機械の運行や農産物輸送の円滑化に加え、地域住民の通学や買い物等の日常生活の利便性の向上が図られ、生活環境の改善に寄与している。

また、集落防災安全施設（防火水槽）の整備により、地域の防火体制が充実する等、安全性が向上している。

6 今後の課題等

本地区では、農業従事者の高齢化や人口減少により農家の担い手が減少しているため、整備された施設機能を維持管理していくためには、集落営農組織の設立や新規就農者支援の取組を進めることにより、担い手の育成・確保を図っていく必要がある。

また、中山間地域であることから鳥獣被害が多く発生しており、有効な被害防止対策を講じる必要がある。

事後評価結果

本事業による農業用用水路など農業生産基盤の整備により、農作物の単収増加や労働時間の軽減が図られている。

また、農業集落道や集落防災安全施設（防火水槽）など農村生活環境基盤の整備により、地域住民の日常生活における利便性や安全性の向上も図られている。

第三者の意見

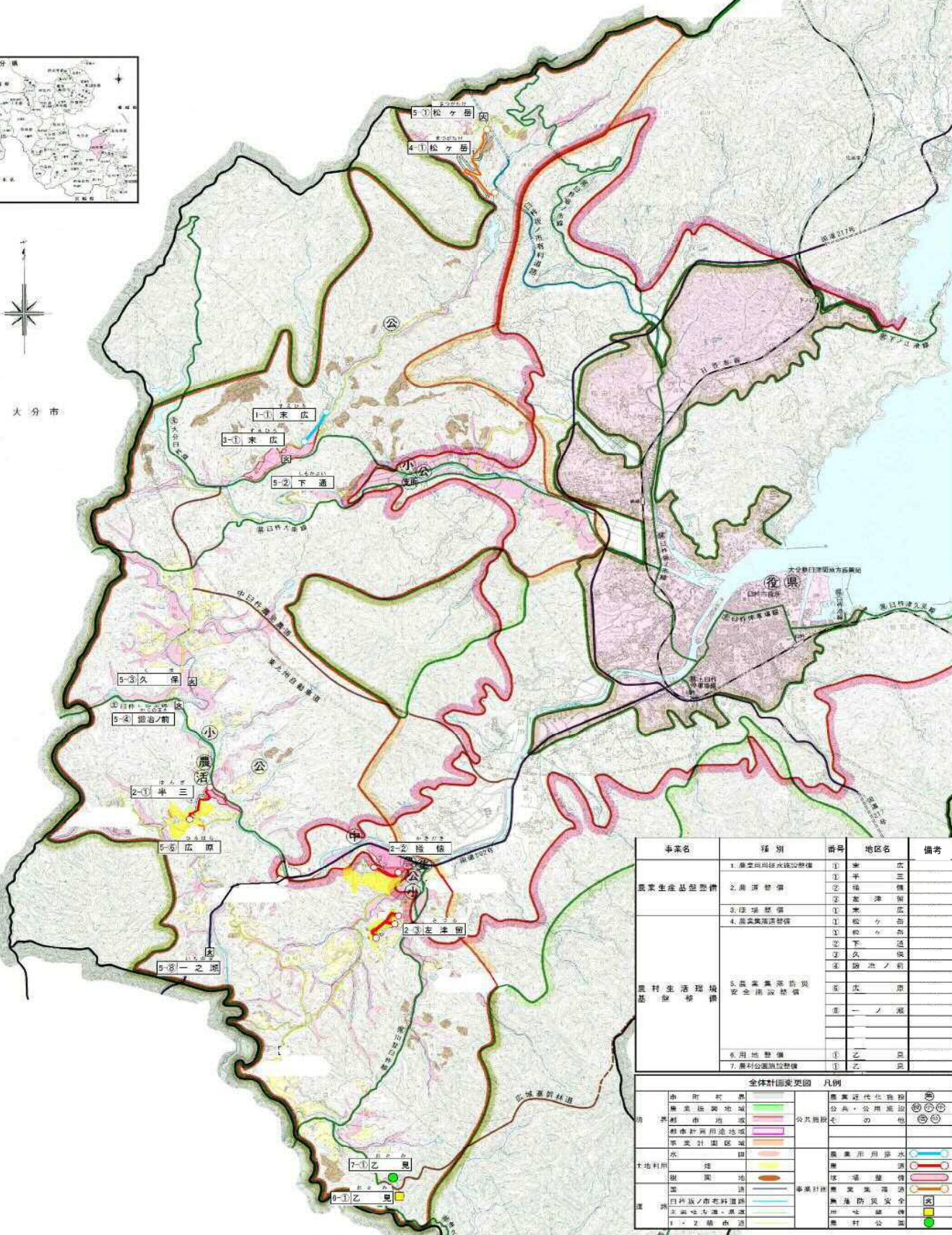
事業の実施により、ほ場の区画が整備され農作業の効率化が図られたこと、用排水路が整備され野菜類の単収が増加したこと、作業受託者の確保が可能となり耕作放棄地の発生が抑制されたことなど、効果の発現がみられる。また、農業集落道や集落防災安全施設等の整備により地域の生活環境が向上したこと、農村公園等は収穫祭の開催やスポーツ交流の場としての活用など地域活性化の取組がみられることも評価できる。

今後とも、担い手の確保のための多様な取組や効果的な鳥獣被害対策が望まれる。

## 佐賀新聞



大 分 市



| 事業名                    | 種 別                 | 番号 | 地区名     | 備考 |
|------------------------|---------------------|----|---------|----|
| 農 業 生 産 基 盤 整 備        | 1. 農業用排水施設整備        | ①  | 茅 原 広   |    |
|                        |                     | ②  | 平 三     |    |
|                        | 2. 農 道 整 備          | ①  | 瑞 穂 穂   |    |
|                        |                     | ②  | 友 津 保   |    |
|                        | 3. 沼 田 整 備          | ①  | 東 広     |    |
|                        | 4. 農業集落排水整備         | ①  | 坂 谷 田   |    |
|                        |                     | ②  | 松 ヶ 無   |    |
|                        |                     | ③  | 下 田     |    |
|                        |                     | ④  | 久 保     |    |
|                        |                     | ⑤  | 勝 田 ノ 前 |    |
| 農 村 生 活 環 境<br>基 盤 整 備 | 5. 農業集落防災<br>安全施設整備 | ①  | 虎 原     |    |
|                        |                     | ②  | 一 ノ 瀬   |    |
|                        |                     | ③  |         |    |
|                        |                     | ④  |         |    |
|                        | 6. 用地整備             | ①  | 乙 島     |    |
|                        | 7. 農村公園遊覧整備         | ①  | 乙 島     |    |

| 全体計画変更 凡例 |          |  |                           |
|-----------|----------|--|---------------------------|
| 市界        | 市界       |  | 農業近代化施設<br>公共、公用施設<br>その他 |
|           | 農業施設地区   |  |                           |
|           | 市界       |  |                           |
|           | 都市計画用途地区 |  |                           |
|           | 事業計画地区   |  |                           |
| 土地利用      | 水田       |  | 農業利用排水                    |
|           | 畑        |  | 排水溝                       |
|           | 樹林地      |  | 排水溝                       |
|           | 道路       |  | 農業実用排水                    |
|           | 日井原/市界線  |  | 消防防災安全                    |
| 道路        | 主要国道、県道  |  | 州道、市道                     |
|           | 1、2 国道   |  | 町村公営                      |

1 : 25,000

野津町